

様式第2号1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	服装科	夜・通信	1,807時間	160時間	
	ファッションビジネス科	夜・通信	1,688時間	160時間	
	ファッションデザイン科	夜・通信	1,563時間	160時間	
	ファッションスペシャリスト科	夜・通信	1,020時間	80時間	
	二部服装科	夜・通信	900時間	90時間	
	ファッション技術専攻科	夜・通信	1,350時間	135時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。</p> <p>(2) 作成した授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経てから実施・公表。</p> <p>(3) 授業計画(シラバス)はホームページにも掲載。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 科目ごとに評価方法を設定。(課題提出、試験実施、授業態度、出席状況等)</p> <p>(2) 成績はすべて点数で評価する。</p> <p>(3) 60点以下は単位取得を認めない。ただし、出席日数や努力評価は上乘せ部分として加算する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>第8条 授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の成果履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その課目について評価を受けることができない。</p> <p>上記に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法を学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 履修すべき教科の出席時数が法定時数以上であること。</p> <p>(2) 履修すべき教科の学年末評点が「60点」以上であること。</p> <p>(3) 履修すべき教科の出席時数が、本則に定める授業時数合計に対しは2/3以上であること。</p> <p>※交通機関の運休、遅れ、インフルエンザ、忌引きについては欠席扱いとしない。</p> <p>(4) 原則として既定の制作課題の100%の提出</p> <p>※100%に満たない場合、卒業判定会議において判定。</p> <p>(5) 学納金完納が確認されていること。</p> <p>上記を学生並びに保護者に公表し、卒業認定会議において認定された者が卒業できる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公表 https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	服装科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間/単位	388 単位時間/ 単位	単位時間 /単位	1712 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2100 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		15人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	6人 (75%)	2人 (25%)
（主な就職、業界等） 販売職、縫製職			
（就職指導内容） （1）求人案内 （2）個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定中級取得、パターンメイキング技術検定2級取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	4人	18.2%
（中途退学の主な理由） 進路変更。精神的理由。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	専門課程	ファッションビジネス科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間/単位	513 単位時間/ 単位	単位時間 /単位	1587 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2100単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	13人	0人	1人	10人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要) 授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。</p> <p>(1) 学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。</p> <p>(2) 授業計画(シラバス)をホームページに掲載。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) (1)クラス担任制(2)個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(4)個別相談(5)中途退学防止のための取り組み</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	6人 (54.5%)	5人 (45.5%)
(主な就職、業界等) 販売職、スタイリスト、総合職			
(就職指導内容) (1)求人案内 (2)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッションビジネス能力検定2級取得、ファッション販売能力検定2級取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	8人	33.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更。精神的理由。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に		

転科説明)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2100 単位時間/単位	344 単位時間/ 単位		1756 単位時間/ 単位		
			2100 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		22人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。</p> <p>（1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。</p> <p>（2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	5人 (50%)	4人 (40%)	1人 (10%)
<p>（主な就職、業界等） 販売職、総合職、パタンナー</p>			
<p>（就職指導内容） （1）求人案内</p>			

(2)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導
(主な学修成果(資格・検定等)) パーソナルカバリスト検定2級取得、色彩検定2級取得
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	5人	16.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更。精神的理由。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	専門課程	ファッションスペシ ヤリスト科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼	1050 単位時間/単位	講義	演習	実習	実験	実技
1年			120単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	930単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		1050単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	4人	0人	1人	10人	11人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 (1)学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 (2)授業計画(シラバス)をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
(概要)学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準

(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
(概要) (1)クラス担任制(2)個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(4)個別相談(5)中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 販売職、縫製職、商品企画、美容系			
(就職指導内容) (1)求人案内 (2)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 洋裁技術認定上級取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	2人	20%
(中途退学の主な理由) 精神的理由。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政	専門課程	二部服装科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	夜	1080 単位時間/単位	180 単位時間/ 単位	900 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位

			1080単位時間／単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	2人	0人	1人	4人	5人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	1人 (20%)	0人 (0%)	4人 (80%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（1）求人案内			
（2）個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

10人	2人	20%
(中途退学の主な理由) 仕事の都合。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション技術専攻科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	1620 単位時間/単位	270 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	1350 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			1620単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		2人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 (1) 学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 (2) 授業計画(シラバス)をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
(概要) (1)クラス担任制(2)個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(4)個別相談(5)中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

2人 (100%)	1人 (50 %)	0人 (0%)	1人 (50%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) (1) 求人案内 (2) 個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
服装科・ファッションビジネス科・ファッションデザイン科・スタイリスト科	160,000 円	480,000 円	500,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 180,000 円 教科書・洋裁用具代 120,000 円 教材費・研修費 190,000 円
ファッションスペシャリスト科	160,000 円	480,000 円	500,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 180,000 円 教材費・研修費 190,000 円
二部服装科	40,000 円	175,000 円	102,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 50,000 円 教科書・洋裁用具代 41,000 円
ファッション技術専攻科	40,000 円	175,000 円	60,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円

				施設維持費 50,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>宮城文化服装専門学校(以下「学校」)は、ファッション業界の社会的・経済的地位の向上を図り、業界の健全なる発展と、良質なサービスを利用者に提供することで人々の豊かな社会生活に貢献することを目的として、業界に求められている質の高い即戦力となる人材育成を行う。本校の教育理念である、「創造性の涵養、企業から必要とされる実践力の養成、知識と技術及び教養の修得、感謝と思いやりのある人格の形成」を具現化することを目途とし、教育活動を実施する。</p> <p>企業や卒業生と連携し、学校の目的と教育理念に沿い、計画(授業・行事等)への取組の達成状況、学校運営への取り組みが適切に行われたかについて評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。評価結果と改善の取組はホームページに掲載し社会へ公表する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
馬淵株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
オズファインクロス	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html
--